

教学IRをきっかけとする教学改善の事例1

| | | |
|-----------------------|--|---|
| 授業科目名 | 数学基礎 BasicMathematics | |
| 授業科目の基本情報 | | |
| カリキュラム上の位置づけ | 情報メディア基礎・教養科目 自然科学系 | |
| 必修・選択の別・単位数 | 必修・2単位 | |
| 配当年次・学期 | 1年次・前期 | |
| | 改善前 | 改善後 |
| 教学IRをきっかけとする教学改善の概要 | 2022年度は最初に実施したプレイスメントテストの結果に基づき、習熟度別に2クラス編成し、数学担当教員2名がそれぞれ1クラス受け持った。 | 2023年度は学生の数学に関する多様な学習歴・習熟度に対応するため、クラスおよび担当教員を増加した（クラス(数学・情報担当教員)数、計6(稚内本校4, 京都サテライト2)）。 |
| 改善の議論において参照された教学IRの項目 | 成績評価分布，学生による授業評価アンケート等 | |

教学IRをきっかけとする教学改善の事例1

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 授業科目名 | 基礎演習II BasicSeminarII | |
| 授業科目の基本情報 | | |
| カリキュラム上の位置づけ | 情報メディア基礎・教養科目 キャリアデザイン系 | |
| 必修・選択の別・単位数 | 必修・1単位 | |
| 配当年次・学期 | 1年次・後期 | |
| | 改善前 | 改善後 |
| 教学IRをきっかけとする教学改善の概要 | 2022年度は稚内本校では4名の教員が分担した一方で、京都サテライトでは3名の教員で分担した。 | 2023年度は京都サテライトにおける学生数の増加や初年次教育の充実に対応するため、担当教員を4名に増加した。 |
| 改善の議論において参照された教学IRの項目 | 成績評価分布，学生による授業評価アンケート等 | |